

大宮区役所旧庁舎等解体工事説明会における質疑応答

質 問	回 答
工事の具体的な工程を、随時わかるようにしてほしい。	氷川緑道西通線に面した壁面に、週間工程表を設置する。
工期が長いが、予定より長くなったり短くなったりすることはないのか。	地下の工事に時間を要する。何等かの障害が発生しない限り、契約期間内に終わられる。場合によっては、短くなる可能性もある。
工事車両が頻繁に出入りすることになり、渋滞が発生することはないのか。	近隣のみなさまに御迷惑がかかることがないように調整する。出入りには交通誘導員を配置する。
氷川緑道西通線や、敷地の南側の道路を通行止めにするようなことはないのか。	通行止めにする予定はない。
解体工事終了後は更地にするのか。	砂利敷きの状態にする。仮囲いは残したままにする。
アスベストを除去するにあたり、飛散することはないのか。	環境省や厚生労働省が推奨する方法で除去を行う。大気汚染防止法に基づき、規定を遵守して作業を行う。基本的には手作業となる。外壁は、剥離剤を用いる。
剥離剤は臭いを発するのか。	臭いはない。
外壁のアスベストの除去の時期は。	内装と同じである。アスベスト除去が完了しないと、解体工事に移ることができないため。
アスベストが飛散しているかどうか、計測器等を用いて計測することはできないのか。	環境測定を行うことになっている。
石綿含有建材表(工事説明資料9・10ページ)のレベルは、数字が小さいほど危険度が高いということか。レベル1に相当するアスベストはないのか。	お見込みのとおり。レベル1に相当するアスベストは、平成17年に行った工事ですでに除去されている。

質 問	回 答
騒音・振動対策は、どのように行うのか。	高さ3メートルの鋼板による仮囲いを設置する。日常生活に影響を及ぼすことのない工法を採用する。
仮囲いの影響で、道路が暗くなることについて、対策は考えているのか。	照明の設置を検討している。
振動騒音計を氷川緑道西通線に設置するとのことだが、なぜ南側には設置しないのか。また、データはどのくらいの期間、保存されるのか。そのデータは情報開示してもらえるのか。	南側にも設置する。振動騒音計のデータは、工事期間中、保存されており、情報開示できるものである。
地下を再生砂で埋めるとのことだが、液状化等の悪影響は生じないのか。	再生砂とは、コンクリートを砕いたものだが、水を含むことによって締め固まるものである。
大宮小学校への影響は。	校舎の渡り廊下と旧庁舎の東館が繋がっており、切り離しの工事を行うことになるが、授業や学校行事への影響を最小限に抑えるため、学校と協議を重ねながら工期を決めていく。
50年前、庁舎を建設した際、井戸の水位が著しく変化した。今回の工事でも、同じ状況が発生するのか。防災の面からも、現在も使用している井戸の水位を調査してほしい。	家屋事前調査の対象地域について、令和4年1月上旬に井戸の有無を調査する。存在する井戸については、1月末までに、現在の状況を調査する。
倉屋敷稲荷神社には、これまで通りに御参りできるのか。	仮囲いは、神社の北側のブロック塀沿って設置するので、御参りに支障はない。